

2. 経費支出概要書（経費内訳）
（1）経営相談支援事業

四條畷市商工会
（単位：円）

区 分	変更前			変更後			差額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
事業所カルテ・サービス提案	300	7,500,000		300	7,500,000		0	
支援機関等へのつなぎ	10	100,000		10	100,000		0	
金融支援（紹介型）	20	600,000		20	600,000		0	
金融支援（経営指導型）	20	800,000		20	800,000		0	
マル経融資等の返済条件緩和支援	0	0		0	0		0	
資金繰り計画作成支援	50	1,000,000		50	1,000,000		0	
記帳支援	20	500,000		20	500,000		0	
労務支援	20	400,000		20	400,000		0	
人材育成計画作成支援	0	0		0	0		0	
マーケティング力向上支援	80	1,600,000		80	1,600,000		0	
販路開拓支援	100	2,000,000		100	2,000,000		0	
事業計画作成支援	10	500,000		10	500,000		0	
創業支援	20	400,000		20	400,000		0	
事業継続計画(BCP)作成支援	25	500,000		32	640,000		140,000	
コスト削減計画作成支援	5	100,000		5	100,000		0	
財務分析支援	100	1,000,000		100	1,000,000		0	
5S支援	5	50,000		5	50,000		0	
IT化支援	30	600,000		30	600,000		0	
債権保全計画作成支援	0	0		0	0		0	
事業承継支援	20	400,000		20	400,000		0	
災害時対応支援	0	0		0	0		0	
フォローアップ支援	200	1,000,000		200	1,000,000		0	
結果報告	300	3,000,000		300	3,000,000		0	
小 計	—	22,050,000	22,050,000	—	22,190,000	22,171,200	140,000	121,200

（2）専門相談支援事業

事業名	変更前			変更後			差額	
	支援日数	算定基準	補助金額	支援日数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
金融相談	12	288,000		12	288,000		0	
税務相談	25	600,000		25	600,000		0	
経営相談	20	480,000		20	480,000		0	
金融相談専門員	61	1,464,000		61	1,464,000		0	
	0	0		0	0		0	
小 計	—	2,832,000	2,832,000	—	2,832,000	2,832,000	0	0

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

（3）地域活性化事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	2,956,949	別紙事業調書【変更後】のとおり	2,835,749		▲ 121,200

（4）商工会等支援事業

	変更前		変更後		差額	
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小 計	別紙事業調書のとおり	906,300	別紙事業調書【変更後】のとおり	906,300		0

（5）合計

	変更前		変更後		差額	
		補助金額		補助金額		補助金額
申請合計		28,745,249		28,745,249		0

事業名		大東・四條畷求人求職マッチングフェア		新規/継続	継続
想定する実施期間		31 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのよ うな状態にしたいか)	令和1年10月における大阪の有効求人倍率が1.50倍の中、当地域(HW門真)管内では1.32倍と大阪より低いものの、雇用失業情勢は着実に改善している。しかし、中小企業では人材確保に積極的に取り組んでも応募者が思うように集まらず、数字以上に苦慮している。そこで、人材確保を希望する企業と地元企業への就職を希望する求職者とのマッチング事業を行い、人材確保と求職者の就労支援を図ることを目的に開催する。			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	人材確保に意欲のある小規模・中小企業者と求職者			
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	巡回時やアンケート調査により、小規模・中小企業から人材不足の課題を持たれているという相談を多数受けておりニーズが高いと考えている。			
これまでの 取組状況 ※継続事業の 場合のみ記入	実施内容・ 実績数値	令和1年10月28日 四條畷市商工会・大東市・四條畷市・ハローワーク門真の主催、北河内地域労働ネットワーク推進会議の協力の元、大東・四條畷就職面接会を開催。 計画 15社 参加企業 10社 支援企業満足度 60%			
	反省点	各方面からの事業周知を行ったものの、求職者に対して広報不足であったため、当日の参加者が少なかったことは反省点である。 引き続き、各団体と連携を図り綿密な打ち合わせを行い、人材確保と求職者の就労に向けた支援が必要であると考えている。			
具体的 な実施 内容・ 手法 (該当型 に○) いつ・ どこで・ 何を・ どのよ うに する のかを 明確に)	人材育成型	〈開催日時〉 10月以降 午後1時30分～4時30分 〈会場〉 大東市立市民会館(未定) 〈募集企業数〉 15社			
	○ 人材交流型	〈主催〉 大東商工会議所、四條畷市商工会、大東市、四條畷市、ハローワーク門真 〈協力〉 北河内地域労働ネットワーク推進会議			
	販路開拓型	【スケジュール】(調整中) 8月下旬 参加企業募集 10月 事業実施			
	ハコ型	※就職面接会の他、求職者を対象とした就職支援セミナーなどの企画も構成団体と検討していく。 ※求職者には、市広報やハローワークにおいて「マッチングフェア」の開催告知をして求職者募集に努める。また当日には、積極的に求職者にお声かけを行い希望企業以外にも面接にチャレンジするよう促す。			
	独自提案型				
	事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)	<input type="radio"/> (a)府施策連携 <input type="radio"/> (b)広域連携 <input type="radio"/> (c)市町村連携 <input type="radio"/> (d)相談事業相乗効果 府施策連携事業 労働関係9 求人・求職マッチング事業に該当する。 (a)地域労働ネットワーク事業と位置づけ、構成団体とも連携をとり広報・運営を行っていく。 (c)当所及び四條畷市商工会が主に求人企業の募集を担当し、市町村は会場関係・広報関係を担当する。 (d)「労務支援」「人材育成計画作成支援」等カルテ化支援につなげていく。カルテ化予定企業数8社			
事業の 目標	支援対象企業数	設定根拠及び 募集方法→	巡回・窓口相談時、案内チラシ、当所HP・市広報への掲載・府メルマガ配信などを活用して事業PRを行なう。		
	支援対象企業 の変化	15 社	当マッチングフェアに出展することにより、将来を担う求職者との面接や人材確保につながることを期待でき経営基盤の強化につながる。		
	指標	再度 書類選考や面接まで行った事業所割合	数値目標	70%	
その他目標値	目標値の内容→				
	60	来場する求職者(エントリーシートにて把握)			

事業名		大東・四條畷求人求職マッチングフェア					新規/継続	継続	
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費	
		⇒ @40,400	円 ×	15	社 ×	1.00	=	606,000	
		@40,400	円 ×	60	社 ×	0.05	=	121,200	
			円 ×		×		=		
	(小計)							727,200	円
	※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算 (小計の5%)								円
	計							727,200	円
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準とおりの場合不要)								
	算出額	①市町村等補助		円	交付市町村等				
		②受益者負担		円	負担金の積算				
<input type="checkbox"/> (a)府施策連携		<input type="checkbox"/> (b)広域連携	<input type="checkbox"/> (c)市町村連携	<input type="checkbox"/> (d)相談事業相乗効果					
標準事業費		補助率		((1)市町村等+(2)受益者負担)					
727,200 円 ×		1.00	=	727,200	円) 円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)	代	商工会・会議所名	配分額						
	○	大東商工会議所	606,000	円	<支援企業数> 大東 : 12社 四條畷: 3社 ※大東が幹事として事業運営を行なうことから、配分額を上げている。				
		四條畷市商工会	121,200	円					
				円					
				円					
			円						

受益者負担等と補助金で標準事業費を上回らないように自動計算しています。

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

事業名		大東・四條畷求人求職マッチングフェア		新規/継続	継続
想定する実施期間		31 年度～	年度まで	←複数年段階的实施事業は左欄に○を また、別紙にて計画を提出すること	
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのよ うな状態にしたいか)	令和1年10月における大阪の有効求人倍率が1.50倍の中、当地域(HW門真)管内では1.32倍と大阪より低いものの、雇用失業情勢は着実に改善している。しかし、中小企業では人材確保に積極的に取り組んでも応募者が思うように集まらず、数字以上に苦慮している。そこで、人材確保を希望する企業と地元企業への就職を希望する求職者とのマッチング事業を行い、人材確保と求職者の就労支援を図ることを目的に開催する。			
	支援する対象 (業種・事業所数等)	人材確保に意欲のある小規模・中小企業者と求職者			
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	巡回時やアンケート調査により、小規模・中小企業から人材不足の課題を持たれているという相談を多数受けておりニーズが高いと考えている。			
これまでの 取組状況 ※継続事業の 場合のみ記入	実施内容・ 実績数値	令和1年10月28日 四條畷市商工会・大東市・四條畷市・ハローワーク門真の主催、北河内地域労働ネットワーク推進会議の協力の元、大東・四條畷就職面接会を開催。 計画 15社 参加企業 10社 支援企業満足度 60%			
	反省点	各方面からの事業周知を行ったものの、求職者に対して広報不足であったため、当日の参加者が少なかったことは反省点である。 引き続き、各団体と連携を図り綿密な打ち合わせを行い、人材確保と求職者の就労に向けた支援が必要であると考えている。			
具体的 な実施 内容・ 手法 (該当型 に○) いつ・ どこで・ 何を・ どのよ うに する のかを 明確に)	人材育成型	〈開催日時〉 10月以降 午後1時30分～4時30分 〈会場〉 大東市立市民会館(未定) 〈募集企業数〉 15社			
	○ 人材交流型	〈主催〉 大東商工会議所、四條畷市商工会、大東市、四條畷市、ハローワーク門真 〈協力〉 北河内地域労働ネットワーク推進会議			
	販路開拓型	【スケジュール】(調整中) 8月下旬 参加企業募集 10月 事業実施			
	ハコ型	※就職面接会の他、求職者を対象とした就職支援セミナーなどの企画も構成団体と検討していく。 ※求職者には、市広報やハローワークにおいて「マッチングフェア」の開催告知をして求職者募集に努める。また当日には、積極的に求職者にお声がけを行い希望企業以外にも面接にチャレンジするよう促す。 ※新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため中止			
	独自提案型				
事業手法 (該当する場合は ○印と下欄に その根拠)	<input type="radio"/> (a)府施策連携 <input type="radio"/> (b)広域連携 <input type="radio"/> (c)市町村連携 <input type="radio"/> (d)相談事業相乗効果 府施策連携事業 労働関係9 求人・求職マッチング事業に該当する。 (a) 地域労働ネットワーク事業と位置づけ、構成団体とも連携をとり広報・運営を行っていく。 (c) 当所及び四條畷市商工会が主に求人企業の募集を担当し、市町村は会場関係・広報関係を担当する。 (d) 「労務支援」「人材育成計画作成支援」等カルテ化支援につなげていく。カルテ化予定企業数8社				
事業の 目標	支援対象企業数	設定根拠及び 募集方法→	巡回・窓口相談時、案内チラシ、当所HP・市広報への掲載・府メルマガ配信などを活用して事業PRを行なう。		
	支援対象企業 の変化	15 社	当マッチングフェアに出展することにより、将来を担う求職者との面接や人材確保につながることを期待でき経営基盤の強化につながる。		
	指標	再度 書類選考や面接まで行った事業所割合	数値目標	70%	
その他目標値	目標値の内容→				
	60	来場する求職者(エントリーシートにて把握)			

事業名		大東・四條畷求人求職マッチングフェア					新規/継続	継続			
算定基準により算出される額	算定基準 (行が足りない場合は、⇒の行に挿入)	⇒	サービス単価		支援企業数		係数		標準事業費		
			円 ×		社 ×		=		円		
			円 ×		社 ×		=		円		
			円 ×		×		=		円		
	(小計)								円		
	※新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%)								円		
	計								円		
	独自提案単価及び独自補正係数の根拠 (基準とおりの場合不要)										
	算出額		①市町村等補助		円	交付市町村等					
			②受益者負担		円	負担金の積算					
<input type="checkbox"/>			(a)府施策連携	<input type="checkbox"/>	(b)広域連携	<input type="checkbox"/>	(c)市町村連携	<input type="checkbox"/>	(d)相談事業相乗効果		
標準事業費				補助率		(①市町村等+②受益者負担)					
			円 ×		=		円) 円)			
補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明する代表団体に○)		代	商工会・会議所名	配分額							
				円							
				円							
				円							
				円							
				円							

受益者負担等と補助金で標準事業費を上回らないように自動計算しています。

【備考】

※別添で補足する内容があれば添付してください。

小規模事業経営支援事業 地域活性化事業 変更理由書

四條畷市商工会

事業名

大東・四條畷求人求職マッチングフェア

計画に対する
実績（数値）

支援企業
数(計画)

15

支援企業
数(実績)

0

支援
実績率

0.0%

【参考】
参加者数

理 由

【変更の経過と理由】

本事業の実施にあたり、大東市立市民会館において、10月下旬に大東・四條畷求人求職マッチングフェアの開催を予定しておりました。しかし、大阪府域において新型コロナウイルス感染者が依然一定数推移していることを踏まえ、本地域においても「三つの条件が同時に重なる場(多くの人の「密」集する場所・換気の悪い「密」閉空間・近距離での「密」接した会話)」を避けるための取り組みをより強く徹底する必要があり、実施することが難しい状況であります。

令和2年9月2日に関係機関及び府施策担当課と調整した結果、新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため、「大東・四條畷求人求職マッチングフェア」の開催を中止することとした。

引き続き、支援対象事業所には、関係機関と連携し人材確保にかかる支援を行っていく。

【支援効果】

【今後の改善方策】

【経費内訳】